

記 録

岡山県および広島県における キクメハシリグモ（キシダグモ科，ハシリグモ属） の確認記録

岡山市 山田 勝

岡山市 佐乗 正浩

矢掛町 江木 寿男

Records of *Dolomedes japonicus* Bösenberg & Strand (Pisauridae) in Okayama Prefecture and Hiroshima Prefecture

Masaru YAMADA, *Okayama-City*

Masahiro SAKUWA, *Okayama-City*

and

Hisao EGI, *Yakage-Town*

キーワード：河川，生息環境。

はじめに

キクメハシリグモ *Dolomedes japonicus* Bösenberg & Strandは、日本では本州、九州に分布する頭胸部の放射状の白線が特徴的なキシダグモ科のクモである。体長は雌18～27mm，雄14～18mmで、都市部から山地にかけて広く生息し、特に下水道や側溝、公園の池の周囲、用水路の壁・山間部の溪流の石や岩の上、植物の根元付近などに見られる（新海，2017）。キクメハシリグモはアオグロハシリグモの色彩変異と見なされ同種とされていたが、Tanikawa & Miyashita (2008)によりキクメハシリグモとアオグロハシリグモは別種であることが報告された。

本種は2014年2月と2015年5月に鳥取県西伯郡南部町で確認され、中国地方初記録と記述されている（桐原，2016）。岡山県では「岡山県野生生物目録2009」（岡山県，2009）が作成され、県内で前年までに記録のあったクモ類は網羅されてい

るが、本種は掲載されていない。この目録のクモ類を担当された野嶋宏一氏によると、岡山県内ではその後も記録はないとのことであった。今回、筆者らは岡山県真庭市と広島県世羅郡世羅町で本種を確認したので、ここに報告する。

確認の概要

本種の確認位置図を図1に示し、各県ごとに確認状況を述べる。

①岡山県での確認状況

2017年7月16日午前11時頃、山田と佐乗が岡山県真庭市勝山の旭川左岸にある本流から分岐した細流でツルヨシ *Phragmites japonica* の下部にタモ網を入れたところ1個体目がタモ網に入った。一見して頭胸部の特徴的な放射状の白線が認められたため本種と同定した（写真1）。性別は不明であった。2個体目は1個体目確認地点上流の橋梁下土台基部モルタル壁面で確認し捕獲した。卵のうを抱いていたため、雌の成体と判断した（写真2～4）。確認環境は、川幅約3m平均水深約

連絡先：m-s-yamada@mx31.tiki.ne.jp

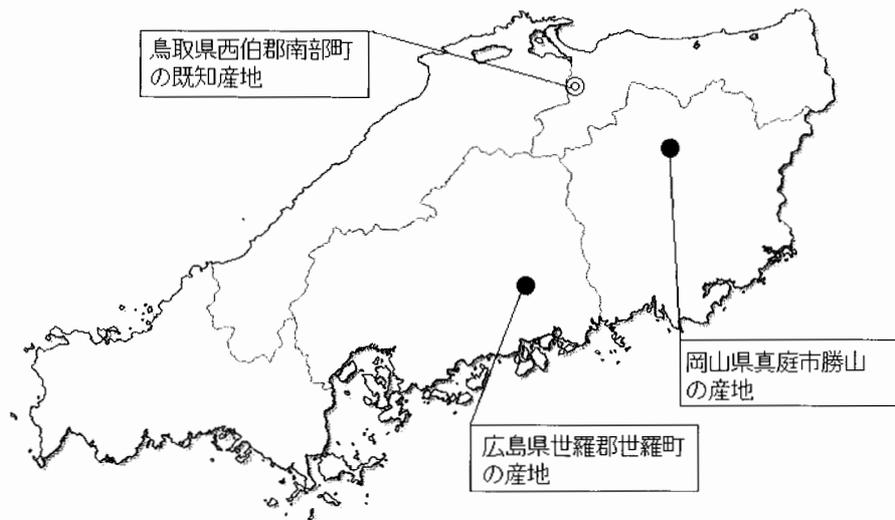


図1. キクメハシリグモ確認位置図.

40cm程度、岸際に平均直径50cm程度の石礫があり、ツルヨシが生育していた（写真5）。現場の標高は166m、当時の気温は28.5℃、水温27.5℃であった。両個体は70%エタノールで液浸保存され、倉敷市立自然史博物館へ収蔵・保管されている。

②広島県での確認状況

2017年8月13日午後2時頃、江木が広島県世羅郡世羅町宇都戸において水際のツルヨシにタモ網を入れたところ1個体を捕獲した。一見して頭胸部の特徴的な放射状の白線が認められたため本種と同定した（写真6）。体長は約18mmであり、触肢の先端が膨らまず特に複雑な突起等が認められなかったため雌生体もしくは幼体と判断した。確認環境は、川幅5～7mで平均水深約40cm、岸際に平均直径50cm程度の石礫があり、ツルヨシが生育していた（写真7）。現場の標高は242mであった。本個体は70%エタノールで液浸保存され、江木が保管している。

まとめ

山田と佐栞は、桐原（2016）の発表をきっかけに本種に留意してクモ類を調査してきたが、今回のデータが得られるまで確認できなかった。今回、偶発的に本種を2例確認することができた時期は7～8月の真夏で、河川中流部の岸際に平均

直径50cm程度の石礫があり、ツルヨシが生育している場所であった。本種は、ツルヨシや石礫の間などを隠れ場所や繁殖場所として利用し、河川周辺で採餌活動を行っているものと思われるが、記録が少ないので詳細は不明である。今後、このような時期や環境を念頭において効率的に調査し、本種の分布状況や生息状況を明らかにしたいと考えている。

謝 辞

本調査を進めるにおいて、鳥取県の生息状況についてご教示いただいた鳥取県在住の桐原真希氏、岡山県産の本個体の同定をしていただき、形態や記録等について丁寧なご指導をいただいた株式会社ウエスコの野嶋宏一氏、それから、標本を収蔵・保管していただいた倉敷市立自然史博物館の方々に感謝の意を表するとともに記して深くお礼申しあげる。

引用文献

- 桐原真希, 2016. 鳥取県南部町で確認されたキクメハシリグモの記録. 山陰自然史研究 (12): 19-20.
- 岡山県野生生物調査検討会, 2009. 岡山県野生生物目録. 397pp. 岡山県生活環境部自然環境課, 岡山.
- 新海栄一, 2017. ネイチャーガイド日本のクモ

(増補改訂版). 407pp. 文一総合出版, 東京.

Tanikawa, A. and Miyashita, T. 2008. A revision of Japanese spiders of the genus *Dolomedes* (Araneae: Pisauridae) with its phylogeny based on mt-DNA. *Acta Arachnologica* 57 : 19-35.



写真1. 勝山町で最初に採取された個体 (真庭市, 2017年7月16日).



写真2. 橋梁下部のモルタル壁面で確認した2個体目 (真庭市, 2017年7月16日).



写真3. 卵のうを抱く〈メス〉 (真庭市, 2017年7月16日).



写真4. 頭胸部の特徴的な放射状の白線が認められる (真庭市, 2017年7月16日).



写真5. 採取地〈川岸のツルヨシ水際〉 (真庭市, 2017年7月16日).



写真6. 広島県世羅郡世羅町で採取された個体 (世羅町, 2017年8月13日).



写真7. 広島県世羅郡世羅町の生息環境 (世羅町, 2017年8月13日).